



第99号

あゆみ



NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL. 047-482-4109 FAX. 047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

NPO 法人ユーアイやちよ 2025 年度総会開催さる !!

★ 定期総会開催 (5/17)

今年度の定期総会を下記のとおり開催し、議案はすべて承認されました。

1. 実施日 令和7年5月17日(土)
2. 場所 八千代台事務所
3. 出席人数 44名(当日出席24名、書面表決及び委任状20名)
運営会員総数50名の過半数を満たし、総会は成立
4. 議案 第1号議案 2024年度事業報告書、活動計算書、貸借対照表
及び財産目録承認の件
第2号議案 役員改選の件



5. 報告事項 2025 年度事業計画及び活動予算の件

総会終了後は、「倫理と法令順守」及び「介護技術・入浴介助(浴槽の出入り介助の基本要領)」に関する研修を行いました。これまでの研修では、法令で定められている必須研修だけでしたが、今後は介護技術に関する研修も進めていきたいと思ひます。

今回は、外部の会議室を確保できず、狭い事業所内での開催となつてしまい、みなさまにはご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

ご協力ありがとうございました。

★『和顔愛語』をモットーに

「語らいパートナーの会」代表: 松尾忠正

5月を起点として「語らいパートナーの会」令和7年度の活動が始まりました。語り合うことの大事さを、社会の誰もが感じるようになって下さったお陰でしょうか? 傾聴の利用を希望して下さる方が、日を追ってと言つて良いほどに増えています。それに呼応するかのように、昨年行った養成講座を経て、新しい仲間が7名増えました。何ごとにつけ、登り調子の時は、組織も生き生きしていますし、会員も潑刺としているものです。



ただ私どもの会は、利用者お一人お一人が心を開いて、日頃の想いを表に出し、「今日の出会いはよかった!」と言つていただけることが一番の使命です。それには、会員それぞれが日頃から人柄に磨きをかけるだけでなく、折に触れて互いに経験を出し合い、反省し、必要なスキルを身につけていくようにしなければいけません。そんなことから、二ヶ月に一度勉強会を催し、会員自らが語り合い聴き合う活動をしています。5月の勉強会には、7割強の会員が参加し、熱心に学び合いを展開しました。



今年度のモットーは『和顔愛語』。簡単そうに見えてなかなか意味が深い言葉です。一年間通して実行できるよう、互いに励まし合っていきたいと思ひています。

Care-wing 活用からほぼ1年経過して～

訪問介護の介護記録ソフト Care-wing 活用を始めて約1年を経過しました。
ヘルパーさんたちから、以下のような意見が寄せられました。

○ 使ってよかったこと

- ・最初は苦勞したが、他の職員のサポートで使えるようになった。
- ・利用者宅で急いで記録する必要がなくなり、帰ってから編集できるようになったので、精神的に楽になった。
- ・伝票との併用がなくなり楽になった。(他事業所はすぐに紙伝票は廃止されたが、ユーアイやちよは1年間併用してくれ、優しい事業と感じたとの意見)
- ・以前の職場でも使っていたので使いやすく感じた。
- ・他のヘルパーの記録も確認できるのが良い。
- ・1ヶ月の様子を書かなくてよくなり、楽になった。(特記事項の内容が充実している方)
- ・紙の記録では書けなかった詳しい内容を記録できるようになった。
- ・音声入力により、書く手間が省けた。

令和7年6月27日 (本日) 9時53分の状況

No.	予定開始	予定終了	実績開始	実績終了	担当者	利用者	状況	写真	詳細
1	08:20	08:50	08:17	08:43	伊藤 真子	鈴木 静江	完了	—	表示
2	08:30	09:00	08:20	09:05	伊藤 真子	鈴木 静江	完了	—	表示
3	09:15	10:00	09:14		伊藤 真子	鈴木 静江	実行中	—	表示
4	09:30	10:15	09:23		伊藤 真子	鈴木 静江	完了	—	表示
5	10:00	12:00			伊藤 真子	鈴木 静江	未実行	—	表示
6	10:00	11:00			伊藤 真子	鈴木 静江	未実行	—	表示

○ 難しかったこと

- ・作業開始ボタンの押し忘れがあった。⇒ アプリの左上の時間が動き始めていることを確認。
- ・予定表とケアウイングの情報が一致していないことがある。⇒ 予定表が最優先。
- ・利用者宅に入室して、タグにタッチする前に話しかけられてタッチできないことがある。

○ マイナス面

- ・利用者宅での記録が難しくなり、帰宅後に記録することになった。

○ サービス提供責任者からのお願い

- ・特記事項には、個人的な感想を書くのではなく、事実を書いてください。
例：ご利用者が話したこと、エアコンがついていなかった、失禁があった等
- ・毎朝、予定表で当日の訪問予定を確認してください。訪問忘れがあったり、サービスに入る日でないのに訪問してしまい、予定していたヘルパーとの重複問題が発生します。
- ・サービス内容や時間の変更が必要な場合は、必ず事務所に連絡してください。
- ・特記事項の内容が充実している方は、「1ヶ月の様子」の提出を不要にしました。

賛助会費をありがとうございます！！

3月以降、下記の方から賛助会費をいただきました。大変ありがとうございます。

石上直之・久美子様、伊藤眞理子様、伊東睦子様、大木昭子様、椎名美代子様、鈴木静江様、鈴木千夜子様、辻誠逸様、中島幸枝様、増田和子様、水戸明美様、武者節子様、桃井哲朗様、八十川トシ子様、篠原智子様

賛助会費は、「地域支援費（傾聴ボランティアや小さなお手伝いの活動費）」および「移動サービス（福祉有償運送）に使用する福祉車両の整備費」等に活用させていただきます。

新しく賛助会員になっていただける方、今後も継続していただける方は、お電話をいただければお伺いします。振り込みいただける方は、電話で連絡頂いたのち、下記口座にお願いいたします。

振込先：千葉銀行新八千代支店（普通）3266357

口座名義人：特定非営利活動法人ユーアイやちよ 代表理事 網干 勝

電話番号：047-482-4109

令和 7 年度千葉県たすけあい協議会の研修会に参加して

山崎 タキヨ

令和 7 年 6 月 21 日に千葉県社会福祉センターにおいて、総会及び研修会（講演とトークセッション）が行われました。講演は「新しい時代のたすけあい、ひとつの在り方」をテーマに、NPO 法人『グレースケア機構』の柳本代表が、トークセッションでは、柳本氏の他に NPO 法人 2 団体（『はとぼっぼ』『たんぽぽの会』）が登壇しました。

講演では、柳本氏の法人では介護保険の訪問介護や障害福祉サービスも行いながら、自費のサービスを（3,520 円/H、15 分単位で可）で提供していること、介護保険で初回サービスの時には、家族の緊張感をほぐすよう心がけ、家族も納得した形での支援を心がけていると話がありました。法人は、「できない理由より、するための工夫を探す！」をモットーとしています。それは、現場のスタッフが生産性向上等に追われ、「介護」が「仕事」になってしまっていることに鑑み、シンプルに年齢・障害を問わず、自費と制度によるトータルケアサービスや自由なケアや個性を生かしたケアを行い、新しい仕組みで人材の定着やベースアップを図ろうとの考えです。早期からヘルパーの指名制度も取り入れ、各ヘルパーの専門性や特技を活かしたサービスを提供しています。現在、スタッフは介護福祉士をはじめ、社会福祉士、精神保健福祉士等の福祉職にとどまらず、英語・中国語通訳、アロマセラピスト、俳優、僧侶等の 192 名が登録しているとの話がありました。「何か困ったことがあったら、できるようにするためにはどうしたらいいのか、困りごとから楽しみまでのトータルケア、住み慣れたところで最期を迎えるためのお手伝い…」と言う前向きな発想と仕組みで、人材も定着しベースアップも図れているとの話に、感動しました。

トータルセッションに登壇した NPO 法人『はとぼっぼ』は、自費サービスのみで、地域の方々の集まりで、本当のご近所同士の助け合いから生まれた法人で、32 年間継続しているグループです。自分たちで話し合い、「できない！」と思うケースは受けず、無理をせずに資格のない自分達にできる支援を行っています。

また、『たんぽぽの会』は、もともと館山市のヘルパー出身者の集まりで作られた法人で、介護保険や市からの制約でできないことが多いことに着目し、もっと自分達でできる事をしたいとの思いで立ち上げた経緯があり、今は市民サロン（事務所の空きスペースを市民の提供）の活動をしています。現在では成果が認められ、市から福祉避難場所としての認定も受けています。

トークセッションを経て、「たすけあいに足りなかった事として、地域住民同士の繋がり、良い関係作りをしてあげばよいのではないかな？」との意見が参加者からでました。また、たすけあい活動の先駆者であり、『さわやか財団』の役員でもある『ふきのとう』の國生さんからは、「助け合い協議会の役割は、繋がりを作ること、切り口や方法を提案すること、入り口へ誘導すること、行政を動かし地域を動かすこと等の情報発信が、『たすけあい協議会』の役割ではないのかな？」との意見がありました。それを受けて、人口が減る中で困っている人やほったらかされている人がいるので、何とかしなければいけない。その為にも介護の在り方や、地域の中での繋がりをもっと発信していく必要があることを出席者で確認しました。各法人の自由な発想や切り口、また出来るようになるためには、どうすれば良いのかを考え、ほったらかさない困りごとなど、ユーアイやちよの小さなお手伝いや、ユーアイサービスでも提供できれば、どんなにか素晴らしいのではと感じ勉強になった研修会でした。

【行事報告】

- 5/15 語らいパートナーの会 勉強会
- 5/17 定期総会・定例会（八千代台事業所）
研修テーマ：「倫理と法令順守」及び
「介護技術・入浴介助」

【今後の予定】

- 7 月～8 月 職員・ヘルパー面談
- 7 月 利用者アンケート・定例会（感染症等）
- 7/17 語らいパートナーの会 勉強会
- 9 月 定例会（事故/緊急時対応）・BCP 研修等
- 9/18 語らいパートナーの会 勉強会

千葉県ホームヘルパー全県会員研修会に参加して

網干 勝

講義：「ホームヘルパー専門職、在宅を支えるための法改定とは？」 講師：結城康博教授（淑徳大）

結城教授の話は、歯切れよく言いたいことをズバリと言うので、1時間半ほどの時間をとても楽しく聞くことができました。内容を簡単にまとめると以下のとおりです。

1. 2035年には、団塊世代が全員85歳以上になる。日本の人口は減少を続け、それに伴う労働力人口の減少 → 介護人材不足が深刻化すれば、「制度あってサービスなし」になる → 介護離職が増え、経済活動に支障が生じる危険性が高くなる
2. 令和5年度の介護職員の有効求人倍率は3.24だが、訪問介護員は14.14と極めて高い。
3. これからも訪問介護の灯を消さないためには、「職員ファースト」で事業を進める必要がある。職員が疲弊したら、サービス提供ができなくなる。サービスを提供するためには、職員がやりがいを持って仕事をし、定着するような運営が必要。
4. 次の介護報酬改定（2027年）では、下記の項目が実施される可能性が高い。
 - ・ケアマネジメントの利用者負担の導入（ケアマネの処遇改善とセットで導入されるのでは？）
 - ・介護保険の利用者負担（2割負担）の見直し
 - ・訪問・通所などサービス間の連携・柔軟化

～ ヘルパーのリレーメッセージ ～

児嶋 つや子さん

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーアイやちよでの職務と勤務期間 2. 好きな言葉 3. 仕事に当たって心がけていること 4. 利用者さんから教えていただいたこと 5. 仕事をしていてうれしかったこと 6. 仕事以外の趣味や楽しいこと | <p>ヘルパーとして1年2か月</p> <p>いつも感謝の心を忘れずに持つ！</p> <p>常に目配りに気をつけ、ご利用者の変化に気づき、寄り添っていけるようにしています。</p> <p>今まで培ってきた生活の中に、気遣いや所作等、自然に身についていることに感動し、私もそうなれるように努力していきたいと思います。</p> <p>普段言葉数が少なく、表情もあまり出さないご利用者が初めて笑顔で挨拶してくださったことです。</p> <p>ジムに行き、エアロ、ヨガ、水泳を楽しんでいます。</p> |
|---|--|



微笑みの輪

5S 運動推進中

5Sは、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」の略称です。5Sは、「処遇改善加算」を算定するための要件の一つである「生産性向上のための業務改善の取組」に分類されています。

職場環境をきれいにするというのも一つの目的ですが、業務効率を向上し生産性を高めることも大きな目的です。もともとは、トヨタ自動車が導入したことが始まりとする説もあるように、工場などの製造現場でよく使われてきたスローガンですが、介護の仕事や事務部門でも重要な活動になります。書類をしまった場所が分からなくなり、探し回ってれば、仕事に多くの時間がかかり生産性が低くなります。また、整理・整頓ができていなくて、利用者情報を机の上に残したまま帰宅したりすれば、個人情報漏洩する心配もあります。利用者宅を訪問する際も、必要なものをすぐに出せるように、バッグの中を整理・整頓しておけば、スムーズに仕事に取りかかれます。各自でいろいろ工夫し、職場環境の改善や生産性向上につなげていきましょう。

